

■小学校の耐震化及び耐震診断結果の公表について

平成26年 4月 1日現在

学校名	棟名	棟番号	建築年	構造	階数	面積	新耐震(◎)	診断年度	診断結果(Is値)	補強年度	備考
石狩小学校	校舎	1	S31	R	2	1,102		H21	0.77	必要無	
	校舎	8-1	S49	R	2	481		H21	0.95	必要無	
	校舎	8-2	S53	R	2	437		H21	0.99	必要無	
	屋体	14-2	S58	S	1	963	◎	—	—	—	
花川小学校	校舎	11-1	S51	R	2	1,000		H21	0.76	必要無	
	校舎	12-1	S57	R	2	1,006	◎	—	—	—	
	校舎	12-2	H09	R	2	746	◎	—	—	—	
	屋体	13-3	S58	S	1	963	◎	—	—	—	
生振小学校	校舎	22-1	S56	R	2	1,866	◎	—	—	—	
	屋体	24	S56	S	1	776	◎	—	—	—	
南線小学校	校舎	17-1	S50	R	3	1,995		H17	0.83	必要無	
	校舎	17-4	S53	R	2	451		H17	0.83	必要無	
	校舎	17-5	S55	R	3	226		H17	0.83	必要無	
	校舎	18-1	H04	R	3	1,420	◎	—	—	—	
	校舎	18-2	H19	R	3	1,115	◎	—	—	—	
	校舎	26	H19	R	3	1,263	◎	—	—	—	
	屋体	30-1	H20	R	1	363	◎	—	—	—	
	屋体	30-2	H20	S	2	1,157	◎	—	—	—	
双葉小学校	校舎	1,2,3	S52	R	3	5,745		H20		H21	
	屋体	4	S52	S	2	814		H20		H21	
花川南小学校	校舎	1-1	S56	R	3	4,040		H21	0.74	必要無	
	校舎	1-2	S59	R	2	1,288	◎	—	—	—	
	校舎	1-3	H01	R	2	780	◎	—	—	—	
	屋体	2-2	S56	S	1	722	◎	—	—	—	
紅南小学校	校舎	1-1	S59	R	3	5,884	◎	—	—	—	
	校舎	1-2	S64	R	3	351	◎	—	—	—	
	屋体	2	S59	S	1	989	◎	—	—	—	
八幡小学校	校舎	1-1	H01	R	2	1,993	◎	—	—	—	
	校舎	1-2	H07	R	2	285	◎	—	—	—	
	屋体	2-1	H01	S	1	807	◎	—	—	—	
緑苑台小学校	校舎	1	H15	R	3	4,780	◎	—	—	—	
	校舎	5	H23	R	3	526	◎	—	—	—	
	屋体	3	H15	S	1	1,188	◎	—	—	—	
厚田小学校	校舎	18	S59	R	2	1,597	◎	—	—	—	
	屋体	15-1	S51	S	1	606		H21		H23	
望来小学校	校舎	17	S60	R	2	1,129	◎	—	—	—	
	屋体	13-1	S52	S	2	465		H21		H25	
聚富小学校	校舎	13	S55	R	2	939		H21	0.97	必要無	
	校舎	20	H01	R	2	166	◎	—	—	—	
	校舎	21	H11	R	1	223	◎	—	—	—	
	屋体	14	S55	S	1	289		H21		H24	
浜益小学校	校舎	20	S51	R	2	1,600		H21	0.76	必要無	
	屋体	21	S52	S	2	627		H21		H23	

(解説) ・構造欄「R」とあるのは鉄筋コンクリート造、「S」とあるのは鉄骨造を示します。

・耐震診断は2階以上の階を有し、または、延面積が200㎡超の非木造建物を対象とし、第二次診断で実施しています。

・第二次診断とは、柱・壁・コンクリート強度から建物の強さと粘りを推定する診断方法で、耐震補強内容を検討し、設計を行うための詳細な診断方法。

・新耐震とは新耐震基準の略で、昭和56年6月の建築基準法改正後の耐震基準を示します。表中では「◎」で示します。

・「Is値」(構造耐震指標)とは、建物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを示します。

・文部科学省では、第二次診断等により算定したIs値が0.7以上の場合を「耐震性がある建物」として取り扱っています。

■中学校の耐震化及び耐震診断結果の公表について

平成26年 4月 1日現在

学校名	棟名	棟番号	建築年	構造	階数	面積	新耐震(◎)	診断年度	診断結果	補強年度	備考
									(Is値)		
石狩中学校	校舎	1	S55	R	3	2,714		H21	0.78	必要無	
	校舎	8-1	H09	R	1	213	◎	—	—	—	
	校舎	8-2	H10	R	2	359	◎	—	—	—	
	屋体	2-2	S55	S	2	940		H21		H24	
花川中学校	校舎	1-1	S62	R	3	2,528	◎	—	—	—	
	校舎	1-2	S63	R	3	736	◎	—	—	—	
	校舎	2-1	S62	R	3	919	◎	—	—	—	
	校舎	2-2	S63	R	3	393	◎	—	—	—	
	屋体	3	S62	S	2	1,193	◎	—	—	—	
花川南中学校	校舎	1-1	S53	R	3	2,397		H20		H21	
	校舎	1-2	S55	R	3	488		H20		H21	
	校舎	1-3	S59	R	3	1,953	◎	—	—	—	
	校舎	2-1	S53	R	1	353		H20	1.81	必要無	
	校舎	2-2	S53	R	1	244		H20	1.81	必要無	
	校舎	2-3	S59	R	1	247	◎	—	—	—	
	屋体	3-2	S53	S	2	1,059		H20	1.2	必要無	
花川北中学校	校舎	1-1	S55	R	3	5,110		H21		H23	
	校舎	1-3	S56	R	3	1,475		H21		H23	
	屋体	2-1	S55	S	2	1,320		H21		H23	
樽川中学校	校舎	1	H07	R	3	4,559	◎	—	—	—	
	校舎	2	H07	R	3	343	◎	—	—	—	
	屋体	3-1	H07	S	2	1,233	◎	—	—	—	
厚田中学校	校舎	11	S49	R	2	131		H21	1.266	必要無	
	校舎	12-1	S49	R	2	903		H21	1.266	必要無	
	校舎	18	S57	R	1	540	◎	—	—	—	
	屋体	21	S63	R	1	754	◎	—	—	—	
聚富中学校	校舎	11-1	S55	R	2	209		H21	0.97	必要無	
	校舎	13	H01	R	2	334	◎	—	—	—	
	校舎	15	H11	R	2	262	◎	—	—	—	
	屋体	12	S55	S	1	193		H21		H24	
浜益中学校	校舎	28	S54	R	2	1,443		H16		H17	
	校舎	34	H06	R	2	340	◎	—	—	—	
	屋体	37	H25	R	1	500		H23		H25	改築
	屋体	33	S59	S	1	310	◎	—	—	—	武道場

(解 説) ・構造欄「R」とあるのは鉄筋コンクリート造、「S」とあるのは鉄骨造を示します。

・耐震診断は2階以上の階を有し、または、延面積が200㎡超の非木造建物を対象とし、第二次診断で実施しています。

・第二次診断とは、柱・壁・コンクリート強度から建物の強さと粘りを推定する診断方法で、耐震補強内容を検討し、設計を行うための詳細な診断方法。

・新耐震とは新耐震基準の略で、昭和56年6月の建築基準法改正後の耐震基準を示します。表中では「◎」で示します。

・「Is値」(構造耐震指標)とは、建物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを示します。

・文部科学省では、第二次診断等により算定したIs値が0.7以上の場合を「耐震性がある建物」として取り扱っています。

小・中学校の耐震化状況

【非木造施設】

石狩市	全校数	棟数		昭和57年以降建築の棟数(新耐震)	耐震補強が必要のない棟数	耐震補強を実施した棟数	計	耐震化率(%)
		校舎棟	屋体棟					
小学校	13	校舎棟	29	18	10	1	29	100
		屋体棟	14	9	0	5	14	
中学校	8	校舎棟	25	14	6	5	25	100
		屋体棟	9	4	1	4 (内1棟改築)	9	
合計	21	77		45	17	15	77	100